

保育講演会レポート

「子育ての楽しみ方 32 のキーワード “悩みのない子育てはない”

元 横浜市立小学校校長／ つちのこ代表

さ さ き たかし
佐々木 孝先生／ 2014年11月7日（金） 参加者 86名

佐々木 孝先生 プロフィール

北海道生まれ。2004年に横浜市立小学校長を退職。現在は、自然素材や身近な材料を用いて学びを創る「FF；つちのこ」の代表として、放課後や休日が心地よい空間になるよう、子どもからおとなまでの造形講座を開催。これまでの活動には、横浜市内はまっこふれあいスクール、同コミュニティ・スクール、幼・保・小連携事業講演、市民講座（版画教室）などがある。また木版画家としても活躍、著書には版画絵本『ぼくらはみんな生きている』『ささき・たかしの木版画集』 横浜市の小学校での子どもたちとの素晴らしい実話をもとに作られた絵本『ヒラベタタイ・ザウルス生まれるよ?!』がある。

※「つちのこ」の名前の由来は、先生のお名前の「孝」（土ノ子）という漢字からつけられたそうです。

つちのこ先生のお話は、1枚の折り紙から始まりました。折り紙はキャプテンクックの船に変身し、船は航海に出ます。これから何が始まるのだろうとワクワクドキドキしながら会場中が船を見つめます。船は、大嵐に遭いどんどん壊れ、とうとうキャプテンクックは海へと落ちてしまいます。そして折り紙はいつの間にか、海に浮かぶキャプテンクックのTシャツに変身です。思いもよらなかったお話の展開にあちらこちらから歓声が上がりました。

おもしろいお話の幕開けに、これからどんなお話が始まるのかとワクワクしながら耳を傾けます。「100人いれば100通りの悩みがあるけれど、その何倍ものゆしさがある。」とおっしゃるつちのこ先生。ざっくばらんなミーティングを挟みながら『32のキーワード』を愉しくお話してくださいました。



次のページにあるのは当日のレジюмеです。

隣の人と3人組で話をしながら、気になるキーワードはどれかを選びました。

佐々木先生は1から順番に話されるのではなく、アンケートの結果を踏まえながら、気になった順にお話ししてくださいました。

参加者のアンケート 気になるベスト3は次のようでした。

参加できなかった皆さんは、どれが気になりますか？

第1位	キーワード18	14票
第2位	キーワード1	9票
第3位	キーワード8	8票

＝子育ての愉しみ方／32のキーワード＝

“悩みのない子育てはない”

1	「ほめる」には、3つの不思議がある	17	「生きている」こととは、すって はくこと
2	きまりには、きまりのきまりと きまりでない きまりがある	18	ジャムが付いたパンを うっかり床に落としてしまったら、いつもジャムの付いている方が下になってしまう
3	「出会い」それは、消しゴムでは消せない	19	図鑑のコスモスは、虫に喰われていない
4	職場や家族、そして仲間といい関係であるには、たったひとつのことばに絞ることができる	20	子どもは、わたしが絆創膏をしていると必ず「どうしたの？」と聞く
5	子ども性とは、“なる” 大人性とは、“ある” “なる”を捨てて大人になる	21	ボクが友だちと喧嘩したことを忘れようとしているのに 親たち大人たちは、いつまでも覚えている
6	子どもは、明日が好き。 ぼくは、明日が不安	22	人間は、三世代で育ち合うどうぶつだ
7	ぼくの歳が ひとつ増えると ぼくへの関心は ひとつ減る	23	子どもにとって8時30分は、 8時15分から8時45分の間にある
8	大砲で、うさぎは撃てない	24	月にうさぎが住んでいるという時代があった
9	ハンガーには、洋服。ハサミには、紙。 ……どんなものにも必ず繋がりがある	25	森の奥は、暗くてじめじめしているが、 森の縁は、いつもにぎわっている
10	子どもと、いい関係ができると 子どもは、きまって 手を繋ぎたがる	26	1番目の情報が正しくて、2番目の情報が間違っているとは、限らない
11	親父のことは、おふくろから聞いて育った	27	創造性のない家庭は、愚痴が多い
12	Small is Beautiful (小さいものは、美しい)	28	笑顔は、ただのプレゼント
13	四季折々、人生折々を感じないでいると 心は、のっぺらぼうになる	29	“はないちもんめ”で、 助けて、助けられる
14	子どもは、一度行ったことのある道のりや まちの風景を覚えている	30	口論した時、和解しないままで寝てしまっ ては、いけない
15	聞くことは、“思いやり”のはじまり	31	お小遣いをねだるときの チャンスはある
16	「優しいこと」は、「優れている」こと	32	子ども110番の家は、他にもある

本気ですれば 大抵のことができ

本気ですれば 何でもおもしろい

本気でしていると 誰かが助けてくれる

子育ての愉しみ方／32のキーワード

1. 「ほめる」には、3つの不思議がある

- 「ほめる」には「直接ほめる」「他人を介してほめる」「言葉以外でほめる」があります。
- ・直接ほめる
たくさんの語いを使ってほめてあげましょう。たくさんの語いを使えるよう、メモを取るようになると思います。
 - ・他人を介してほめる
「お父さんがあなたをほめていたわよ。」「先生が～とほめていたわよ。」など、ほめていた人がその場にいなくても、代わりにほめてあげるといいですね。
 - ・動作でほめる
言葉とはちがった方法でほめましょう。抱きしめてあげるなど、スキンシップは小さな子は喜びますね。

2. きまりには、きまりのきまりと きまりでない きまりがある

きまりばかりでは窮屈になってしまいます。あいさつなど、自発的に約束ごとの中で行動する方が気持ちがいいですね。

3. 「出会い」それは、消しゴムでは消せない

過去と出会いは消しゴムでは消せません。しかし、自分と未来は創ることができます。「今」を大切に。

4. 職場や家族、そして仲間と良い関係であるには、たったひとつのことばに絞ることができる

相手を敬う気持ちがあれば、よい関係を築くことができます。いつも「感謝」の気持ちを忘れずに。敬意を込めて過ごせるといいですね。

5. 子ども性とは、“なる” 大人性とは、“ある” “なる”を捨てて大人になる

子どもは常に変化しています。昨日できなかったことが、今日突然できるようになることがあります。しかし、おとなはあまり変化のない完成品です。あとは壊れるだけ…。子ども時代にはたくさんの「なる」を経験させてあげたいですね。そしておとなでも、子ども性を持ち続けることは素敵なことです。

6. 子どもは、明日が好き。ぼくは、明日が不安

子どもは、少し先のことが大好き。ワクワクして待つことが大好きです。

7. ぼくの歳がひとつ増えると ぼくへの関心はひとつ減る

夫婦関係をひとつみても、結婚当初はお互いに関心がありますが、月日が経つにつれて関心が薄れていくものです。心がのっぺらぼうにならないように、人生折々の感動、感謝、祝福をし、おとなも子どもも豊かでいられるといいですね。「初心忘れるべからず」です。

8. 大砲で、うさぎは撃てない

ものごとには、それぞれ適したものがあります。「こうしたいな」というおとなの思いを大げさに、過重に子どもに与えすぎないでください。その子、その子に合った対応があるはず。あらかじめ何が起こるのか想定して準備しておくのもよいですね。

9. ハンガーには洋服。ハサミには紙。……どんなものにも必ず繋がりがあ

10. 子どもと、いい関係ができると 子どもは、きまって手を繋ぎたがる

子どもたちとブームを創ろう!!ブームを創ると子どもと良い関係ができますよ。いい関係を創ると子どもは必ず手を繋いでくれます。そしてどの子どもも、お母さんが大好きです。

11. 親父のことは、おふくろから聞いて育った

12. Small is Beautiful (小さいものは、美しい)

小さいもの＝人間で言えば子ども、山で言えば森、森で言えば木のように、小さいものを大切にしなければ大きなものは創れません。小さいものに愛しを持ちましょう。

13. 四季折々、人生折々を感じないでいると心は、のっぺらぼうになる

人生のイベント、季節のイベントを大切に、子どもと関心を持って過ごせるといいですね。

14. 子どもは、一度行ったことのある道のりやまちの風景を覚えている

非言語のものにたくさん触れさせてあげましょう。音楽や絵を見たり、おじいちゃんおばあちゃんと過ごすのもよいですね。

15. 聞くことは、“思いやり”のはじまり

「聞く」「聴く」「効く」色々な“きく”があります。「何を言ったか」ではなく、「何を言いたいか」に耳を傾けて、心を添えて聞くことが大切です。長い物さしを使って聞いてあげましょう。

16. 「優しいこと」は、「優れている」こと

17. 「生きている」こととは、すって はくこと

18. ジャムが付いたパンを うっかり床に落としてしまったら、いつもジャムの付いている方が下になってしまう

物事には摂理があります。自然の成り行きで仕方のないこともたくさんあります。これに悔んだり悩んだりせず、前へ進みましょう。そのことは今わからなくてもいい、やがてわかる時が来るのです。

19. 図鑑のコスモスは、虫に喰われていない

図鑑や辞書に載っていないことは“うそ”なのか？

図鑑のコスモスは、風にも揺れていませんし虫にも喰われていません。自然界には図鑑にない世界があります。本だけの情報より自然にあるものの方が子どもの心を動かします。実際に見て、触って、感じる事が大切です。

20. 子どもは、わたしが絆創膏をしていると必ず「どうしたの？」と聞く

21. ボクが友だちと喧嘩したことを忘れようとしているのに 親たち大人たちは、いつまでも覚えている

つつい過去のことを言ってしまうがちですが、子どもたちは明日が大好きです。

22. 人間は、三世代で育ち合うどうぶつだ

核家族が増えていて、なかなか難しいですが、時にはおじいちゃんおばあちゃんと過ごせるといいですね。悩み事があっても、三世代で解決できるし、何よりワンクッションおいて考えられます。

23. 子どもにとって8時30分は、8時15分から8時45分の間にある

子どもにとっての「時間」とは、その子独自のもの。その子その子で時間に幅があります。ゆったりとした気持ちで接してあげましょう。

24. 月にうさぎが住んでいるという時代があった

25. 森の奥は、暗くてじめじめしているが、森の縁は、いつもにぎわっている

森の奥というのは、獣が出たり薄暗くて、じめじめしていますよね。でも森の入口では、小鳥が鳴き草花が咲きとてもにぎやかです。森の「縁」＝ご近所さん、友人の意見を聞いてみましょう。森の「奥」＝深入りする必要はありませんが、家族だけで物事を見るのではなく、視野を広げてみることも大切です。

26. 1 番目の情報が正しくて、2 番目の情報が間違っているとは、限らない

27. 創造性のない家庭は、愚痴が多い

忙しきで物事をおろそかにしない。ワクワクしたイベントを持とう！楽しみに待てるといいですね。

28. 笑顔は、ただのプレゼント

29. “はいちもんめ” で、助けて、助けられる

子どもたちは、遊びを通して色々なことを学んでいきます。

30. 口論した時、和解しないままで寝てしまっは、いけない

なかなか難しいことですが、明日という日を明るく迎えたいですね。

31. お小遣いをねだるときのチャンスは、ある

お小遣いをねだるのは、お母さんの気分がいい時がチャンス!!それと同じように、子どもに何か伝えたい時は、子どもの気分の良い時、遊びの終わった時に伝えましょう。順序立てて伝えることが大切です。

32. 子ども 110 番の家は、他にもある

「32 のキーワード」には、つちのこ先生からのメッセージがたくさん詰まっていた。

それは、とても興味深く、共感できるものでした。

「本気ですれば大抵のことができる

本気ですれば何でもおもしろい

本気でしていると誰かが助けてくれる」

爽やかな秋晴れの空の下、つちのこ先生の朗らかなお人柄と心に響くメッセージは、優しく豊かな気持ちになれる時間となりました。

佐々木先生の版画絵本「ぼくらはみんな生きている」より



ひきこもってもカメへんか？
こ～ら！
そりゃあ あかん！
とにかく 一歩前へ
ゆっくりで カメへん



ハンガーと洋服
ハサミと紙
あなたとわたし
どんなものにも
つながりがある

とても素敵な版画の絵本です。

あとがきに、動物たちがあなたの心に小さなノックをおくっているよ。

ほら、聞こえるよ。わたしは、わたしのよう
あなたも、あなたらしくと、ね。とありました。

講演会に参加された方から…

チューリップ赤組 原田聖子

佐々木先生、この度は貴重なお話をありがとうございました。つい最近、言葉の持つ不思議な力について考える機会があったばかりで、「今は意味がわからなくても、そのうちにわかる言葉を是非家訓に」というお話は、特に興味深く聴かせていただきました。我が家にはまだ家訓と呼べるものはありませんが、自分達の目指す姿に導いてくれるような言葉に出会えましたら、是非ともそれを家訓にし、娘にしっかりと伝えていくつもりです。1日でも早く大切な言葉を見つけられるよう、時々森の縁を覗きつつ、アンテナを張り巡らせながら、日々を大切に過ごしていきたいと思ひます。有難い気付きが得られました今回のご縁に、深く感謝いたします。

チューリップ赤組 花井容子

この度は佐々木孝先生のお話を伺う機会を作って頂いて有難うございました。子育ての愉しみ方32のキーワード、悩みのない子育てはない。お話を伺えるのをとても楽しみにしていました。簡潔で分かりやすい32のキーワード、中でも一番印象に残ったのは、「子どもと、いい関係ができると子どもは、きまって手を繋ぎたがる」です。年長の次女と一緒に歩いている時によく手を繋いでくれます。私も危ないので手を繋いだほうがいい位にしか思っていないのですが、娘といい関係ができているかと思うと、とっても嬉しいです。小学5年生になる長女とは最近なかなか手を繋いでいないような気がして寂しいですが、お互い恥ずかしいような気持ちもある気がするので、きっかけをみつけて繋いでみようと思ひます。とても楽しく興味深いお話で、あっという間に時間が経ってしまいました。先生が主催されている本牧山頂公園のイベントにも是非参加させて頂きたいと思ひます。有難うございました。

チューリップ赤組 岡田美穂

カラフルな色紙や付箋を使って作業をしたり、お隣の人と相談しながら先生に聞きたいことを選んでみたりと、次は何をするのかなと、ワクワク楽しいひとときをありがとうございました。先生の「子どもといい関係ができると、子どもはきまって手を繋ぎたがる」という言葉が心に残りました。幼稚園への行き帰り、毎日ニコニコ手を繋いで歩けるように、愉しみながら過ごしたいと思ひます。

チューリップ赤組 原山真紀

「32のキーワード」をもとにした佐々木先生のお話は一つ一つのテーマにある意味に考えさせられ納得していくその様な時間を持つてるすばらしいひとときでした。日々バタバタと過ごす中で立ち止まり子どもの声に耳を傾けるその大切さを改めて教わりもっと子どもに寄りそってあげなければと実感いたしました。このような機会を与えていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

チューリップ白 北迫真弥

今回の佐々木先生による講演会では、自分一人で消化するだけでなく、他者と共有し答えを見つけしていくという、とても有意義な時間を作ってくださいました。子育てのみならず人生を愉しむためのキーワードにも溢れていたお話に、あらためて「ああ、そうだなあ。」と共感し、捉え直す機会となりました。講演会が一番最初に先生が語られた、立冬の空に見えた飛行機のお話と、リラクスして聞く(聴く→効く)のために準備して下さった変わり折り紙によって、私の心に”子ども性”を取り戻させてもらったような気がします。素晴らしいひとときを、ありがとうございました。

チューリップ組

「NYの朝はコーヒーで始まり、日本の朝はお小言で始まる」32のキーワードではありませんが、爽やかな朝を気持ち良く過ごせるよう気をつけたいと、印象に残りました。「子どもにとって8時30分は、8時15分から8時45分の間にある」というキーワードも、子どもってそうなんだなあ気づかされるハッとするものでした。様々な気付きや学びが32のキーワードに隠されていて、それがツチノコ先生によってひもとかれるような楽しく実り多い講演会でした。このような機会を与えて下さいました園長先生、亜樹子先生に感謝いたします。

「大砲でうさぎは撃てない」「ボクが友だちと喧嘩したことを忘れようとしているのに親たち大人たちはいつまでも覚えている」等々、佐々木先生の32のキーワードはまるで自分のことを言われているようなドキッとすることもばかりでした。日々の子どもとの関わりを見直す良いきっかけとなり、「こんな風に考えたらいいんだな」と心が軽くなり…。たいへん有意義な時間となりました。優しく温かい先生のお人柄やキーワードについて、母親仲間との語り合いにパワーをもらうことができました。このような機会を作ってください、ありがとうございました。

講演会のスタートが折り紙を使ったマジック(?)という、初めての講演会でした。子育てを愉しみたいと思ひながら、毎日ガミガミ怒っている私です。講演会に出席させて頂くことにより、自分の子育てを振り返る、貴重な時間となっております。(ほとんど反省する事ばかりですが…)母親11歳の私ですが、これからも悩みながら、子育てを愉しみたいと思ひます。佐々木先生の講演会に参加できる機会を作って下さった幼稚園に感謝致します。ありがとうございました。

ひまわり赤組 姉川清美

佐々木先生の優しさあふれる笑い声につつまこまれ、子育てについてたくさん考える時間をいただきました。ありがとうございます。私は32のキーワードの中から「子どもは明日がすき。ぼくは明日が不安」に、はっとしました。「もうすぐ運動会だね!」「もうすぐ旅行だね!」と未来の話をすると、とてもうれしそうにする息子。逆にお弁当、時間までに作り終わるかな、忘れ物なく荷造りできるかな、と私。不安だと思ふ気持ちが先立っていました。未来のことにわくわくし、素直に楽しめる。そんな風に過ごしていきたいと思いました。

ひまわり赤組 鈴木亜矢

やさしさあふれる笑顔が印象的な佐々木先生のお話は、とても心が満たされました。今しかできないわくわくする子育て、楽しい子育てをしたいと思います。つちのこさんの造形イベントにも参加してみたいと思いました。

ひまわり白組 小島淳子

佐々木先生の謙虚で穏やかなお人柄のせいでしょう。会場全体が和やかなムードに包まれていました。子育ての愉しみ方のヒントをたくさん教えていただきましたが、中でも子どもとの接し方や言葉かけにおいて、「ワンクッション」おくとという工夫にはっとしました。我が子には、つい遠慮なくズバツと直接的な言葉や態度をぶつけてしまいがちですが、もっとわくわくするような、子どもの感性に響く接し方を考えてみようと思いました。またぜひ、佐々木先生のお話を伺いたいです。

ひまわり赤組 佐藤祐子

佐々木先生の掲げた「32のキーワード」は、普遍的で、小さな気付きで溢れていました。これまであまり子どもたちと接する機会がなかった私でしたが、母になり、娘やほかの子どもたちとたくさん触れ合うことができるようになって、佐々木先生と同じく、子どもの魅力(魔力)に気付けたことをとても感謝しています。「Small is beautiful.」本当にそうですね!この魅力的で、とても貴重な子ども時代を、感性を豊かにしつつ(母である私自身も)、娘の個性を大切にしながらのんびりやっつけていこう、改めてと思いました。

ひまわり白組 吉田香恵

「8時30分は〜」のキーワード。まさに毎朝のわが家の光景を言われているかのような感じでした。つちのこ先生のお話の楽しさに、つい私も子育て愉しめるかも〜!?とってしまった。日々、子育ては悩みの連続ですが、愉しんで今しかない子どもとの生活をワクワク、ドキドキ送りたいと思います。

もみじ組

32のキーワードの中で、私が心に残った言葉は、「聞くことは“思いやり”のはじまり」です。忙しさのあまり、何が言いたいのかと答えを求めがちですが、「何を言っているか」ではなく、「何を言おうとしているか」が大事とのこと。これからは、子どもの思いをくみ取り傾聴していきたいと思います。

もみじ赤組 秋元開未

どんな意味が含まれているのだろう...? 講演前に頂いた資料は、気になる言葉がたくさん詰まっていました。お話を聞くうちに、ぼんやりとした思いがはっきりとしたものになって行き、とても楽しく共感出来ました。たくさんの素敵なメッセージの中、「敬意」につながるお話と、「遊びの中で学ぶことの大切さ」が強く心に残りました。日常の中で心掛けて行きたいものだと思います。佐々木先生の優しい笑顔がとても印象的でした。ありがとうございます。

もみじ組

隣の方と意見交換ができ、新鮮でした

もみじ赤組 川崎聖恵

“悩みのない子育てはない”というサブタイトルから、すでに勇気をもらい、つちのこ先生のユーモアあふれるお話やエピソードから、たくさんの元気とヒントをもらいました。この楽しさを分かちあいたい、先生の版画の本を子どもたちに見せていたら、小学生の息子が「この絵、見たことある!」と。小学校の入学式でいただいた「へこたれない神様のおまもり」というカードが、つちのこ先生の版画でした。親子でびっくり!そして、子どもの観察力と記憶力に感動!早速の楽しいひとときでした。子育て中、悩みのるつぽにはまったときには、今回のキーワードを思い出したいです。素敵な講演会をありがとうございました。

もみじ白組 長嶋美也子

元気な子どもたちとの生活は賑やかで楽しいものです。しかし、時間や物事におわれ、気持ちに余裕が持てず、イライラしてしまうこともしばしば…。今回、講演を拝聴し、子どもらしさとは?子どものリズムは?など色々なことに気付かせて頂きました。私自身が、心にゆとりや楽しみをもって柔軟になることが大切なのだと思います。子育てを愉しみたいです。

卒園生 すみれ組 永井奈津子

佐々木先生の講演は、ほのぼのとした、どこか安らぎのある、とても良い時間を過ごすことができました。32のキーワードそれぞれに自分なりの解釈を考えました。その後、佐々木先生のお話やエピソードを伺いましたが、「みなさんそれぞれの解釈を考えてみて」…「ぼくはこう考えているんだよ」…そのためでしょうか、受け身になりがちな拝聴する講演会というよりも、会話の中でお話を聞いているような気持ちになっていました。雑談のようにしたいとおっしゃっていた佐々木先生の思う壺です(笑) ひとつひとつのお話は、短いけれどもとても深く、丁寧に生きておられる先生のご様子が浮かびます。素敵な詩のように、やわらかく心に染み入るキーワードでした。佐々木先生のお人柄にも触れ、「講演会」とは、お話の知識を得るだけでなく、話し手と時間と空間を共有できる本当に貴重な機会だとあらためて思いました。このたびも、このような機会をいただきましたことに大変感謝しております。ありがとうございました。

卒園生 すみれ組 岡本祐三子

我が家に家訓はないのですが、「他人と過去は変えられないが自分と未来は変えられる」と以前聞いた言葉で心に残っていたので、ことあるごとに子ども達に伝えてきました。今日の講演会で「聞くことは思いやりのはじまり」がずっと心に入ってきました。日々の忙しさに追われることばかりでなく、きちんと聞く姿勢が大事だと思いました。やはり講演会はとても楽しいです。ありがとうございました。



保育講演会 広報担当

佐藤祐子 鳥居僚子 中沢芽依子 平田恵美 吉田香恵